

法人概念	自分らしく楽しく、充実した生活を送ることが出来る。 やりたいことを諦めない。出来る方法を考え支援する。		
支援方針	ご家族と共に、お子様と一緒に考えてお子様にあったサービスを提供する。		
営業時間	9:00~18:00	送迎時間の有無	有

5 領域	支援内容
健康 ・ 生活	<ul style="list-style-type: none"> ・ 来所時に職員が検温と健康観察を行う。 ・ イラストや絵カードを使用し、体調不良の種類を日頃からお子様とのやりとりを通して確認する。 ・ 荷物の片づけ・手洗い・排泄・歯みがき・衣服の着脱などの練習をお子様に合わせて方法で実施する。 ・ 定期的に避難訓練（防災・防犯・地震・水害）を行う中で命を守る避難意識を高める。 ・ 家庭での状況を把握し生活リズムの形成などを必要に応じてトークンエコノミーなどを提供する。
運動 ・ 感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・ お子様の興味関心を大切にし、握る・3指でつまむ・両手で操作する・道具を使うなどの課題・遊びの提供する。 ・ お子様の感覚特性に応じた環境設定を行う。 ・ お子様の特性に合わせ、緊張や不安が強いお子様は大人と1対1の環境を提供する。 ・ お子様の興味関心を大切にし、遊びの場を各コーナーに分けて環境設定をする。月2回内容を変更。
認知 ・ 行動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個々の特性に合わせた環境設定や視覚支援などで適切な行動を支援する。 ・ 様々な活動を通して、注視する力や模倣する力、選択する力を育てていく。 ・ アセスメントを重視し、一人ひとりに合った支援を提供することで意欲を高め、自立した活動ができるように支援する。 ・ 興味関心に配慮した様々な個別課題を提供し、認知を高めていけるようにする。
言語 ・ コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・ 遊びを通して他社との経験を共有し、共感し合える機会を作る。 ・ 語彙の広がり支援する。 ・ 様々な場面で自己決定と、それを相手に伝えることを個々に合わせた工夫の中で支援する。（玩具・制作物の選択・要求。日付・天気を選択・順番決め等） ・ 個々に合わせ、しゃべらなくても伝えることの喜びを感じていただけるように時には視覚的支援（コミック会話等）を提供する。 ・ お子様に応じて無理のない書字を行う。必要に応じてお子様が書きやすい工夫や代筆の提供する。
人間関係 ・ 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 週1で集まりの内容を変え、特性やタイプに応じたグループ構成を行う。 ・ 個々に合わせて気づくヒントになる物を提供する。 ・ いつものスタッフやお友達と安心して過ごす中で、公共機関を使用し、様々な場所に行く機会を提供する。 ・ お子様に合わせてクールダウンの方法を提供する。

家族支援

- ・連絡帳や送迎時に情報提供を行う。
- ・必要時に面談を行い、相談毎に対応していく。
- ・家庭での状況を把握し生活リズムの形成などを必要に応じてトークンエコノミーなどを提供する。

移行支援

- ・現在利用されている小学校などの支援会議に参加し情報の共有に努める。
- ・R7年度から、ライフスキルアップを目指した集団療育：アクティビティクラブを始める。

地域支援・地域連携

- ・地域の事業所・地域の学校からの見学の受け入れ。
- ・R7年度から、ライフスキルアップを目指した集団療育：アクティビティクラブを始める。

職員の質の向上

地域の療育事業所向けの研修会に参加。(年2回)
児童発達管理責任者・更新研修など
法人の研修に計画・参加

主な行事等

もちつき・夏祭り・保護者会・外食体験・買い物体験・ハイキング・忘年会・新年会
芸術鑑賞